

平成20年度(第5期)

## 第1回小児在宅ケアコーディネーター研修会プログラム

日時：2008年6月14日(土) 10:00~16:55 (受付開始9:30)

2008年6月15日(日) 9:30~15:30 (受付開始9:15)

場所：名古屋大学大幸キャンパス東館大講義室

### プログラム：6月14日(土)

開会の挨拶

【研究会の概要説明】 10:05~10:25

小児在宅ケアコーディネーター研修会責任者  
京都橘大学看護学部 堀妙子

【研修会のねらい】 10:25~11:00

研修会のねらい~子ども・家族主体の在宅ケアを目指して~

小児在宅ケア研究会会長  
名古屋大学医学部保健学科 奈良間美保

【スタッフ紹介及びグループメンバー紹介】 11:00~11:30

休憩 11:30~13:00

第4回小児在宅ケア研究会年次集会参加 13:00~16:55

### プログラム：6月15日(日)

【研修生自己紹介】 9:35~10:50

氏名、所属、研修会参加の動機、研修会で学びたいことなど

休憩 10:50~11:00

【小児在宅ケアの基礎知識】 11:00~12:00

在宅ケアのポイント ~新生児期~

京都橘大学看護学部 堀妙子

~乳児・幼児期~ 名古屋大学大学院医学系研究科 茂本咲子

~学童・思春期~ 名古屋大学大学院医学系研究科 田中千代

休憩 12:00~13:00

【グループ討議】 13:00~15:00

テーマ「今、小児の在宅ケアを支援する中で感じている事」

【発表】 15:00~15:30

閉会の挨拶

## 第4回小児在宅ケア研究会年次集会プログラム

日時：2008年6月14日（土）13：00～16：55（受付開始 12：30）

場所：名古屋大学大幸キャンパス東館大講義室

テーマ：多職種協働で支えるこれからの小児在宅ケア

プログラム：

13：00～13：20 【小児在宅ケア研究会総会】

休憩 13：20～13：30

開会の挨拶

13：35～14：35 【活動報告】

座長 群馬大学医学部保健学科 金泉志保美

1. 小児の訪問看護の実践を通じて今後のあり方を考える  
—7年間、97名の子ども達への関わりを通じて—  
訪問看護ステーションほのか 梶原厚子
2. 病棟における「在宅系」としての取り組み —事例検討会の実際—  
大阪府立母子保健総合医療センター 伊東由佳
3. 在宅人工呼吸器患児の退院支援 —地域医療連携室の取り組み—  
千葉県こども病院 上加世田豊美

休憩 14：35～14：45

14：45～15：45 【事例報告】

座長 千葉県こども病院 大澤通子

1. 精神的に不安定な母親に対する退院支援  
静岡県立こども病院 矢部和美
2. 在宅人工呼吸器療養を希望したが移行できなかった家族へのアプローチ  
大阪府立母子保健総合医療センター 川口めぐみ
3. 多くのサービス利用にも関わらず在宅療養の継続が困難であった事例を振り返る  
羽島市医師会訪問看護ステーション 小川絵麻

休憩 15：45～15：55

15：55～16：55 【講演】

座長 名古屋大学医学部保健学科 奈良間美保

「HOSPITAL PLAYの概念化を目指して Playの意味を考える」

静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科 松平千佳先生

閉会の挨拶